

東証1部 (4733)

勘定奉行の



基幹業務システム

奉行11



すべての業務とつながるひろがる

奉行クラウド

株式会社 オービックビジネスコンサルタント

2021年3月期 決算

2022年3月期 事業計画・戦略 説明会

2021年4月23日

1. 2021年3月期 決算の概要

2. 事業戦略

3. 2022年3月期 事業計画

1. 2021年3月期 決算の概要

<p>売上高</p>	<p>29,252 百万円(2.7%減) ※ () 内は前年同期比</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ソリューション売上1,526百万円減 (17.6%減) 内、クラウド (SaaS,IaaS) は892百万円増 (79.7%増) ◆ サービス売上1,368百万円増 (7.7%増) 内、奉行クラウドEdgeは733百万円増 (25.8%増) ◆ 売上高合計816百万円減 (2.7%減)
<p>売上総利益</p>	<p>24,521 百万円(1.1%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 原材料費(SQL、奉行連動ソリューション)248百万円減 ◆ インストラクター外注費251百万円減
<p>営業利益</p>	<p>12,942 百万円 (0.3%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 研究開発費89百万円増 ◆ 広告宣伝費57百万円増 ◆ その他経費472百万円減 ◆ 合計で販売費及び一般管理費242百万円減
<p>経常利益</p>	<p>13,934 百万円 (0.7%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 受取配当金が911百万円発生
<p>当期利益</p>	<p>9,670 百万円 (2.9%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 特別利益に投資有価証券売却益67百万円を計上 ◆ 特別損失に事務所移転費用21百万円を計上

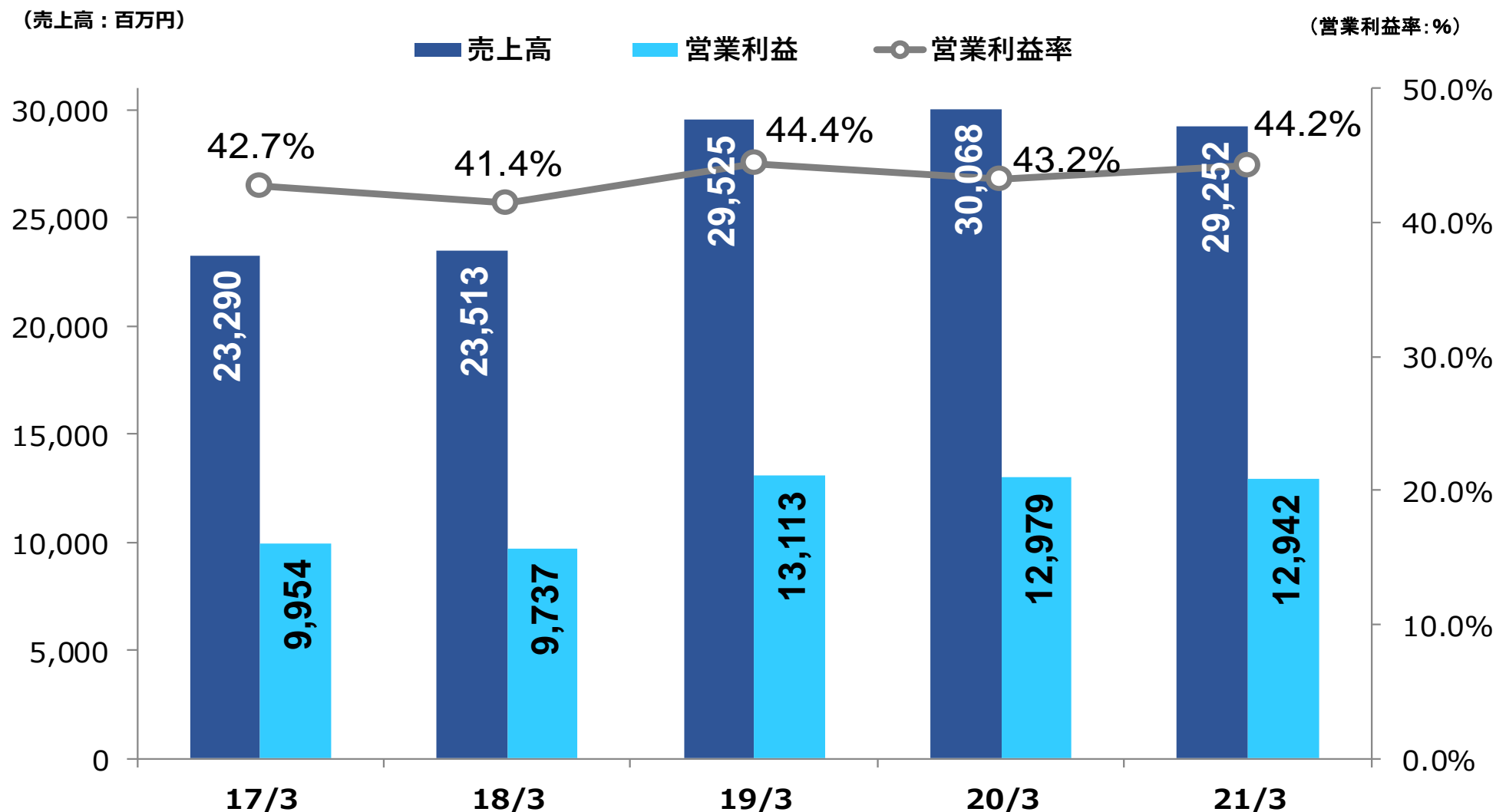
2021年3月期 決算の概況

(百万円)	20/3期		21/3期	21/3期		対前年	
		構成比(%)	予想		構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	30,068	100.0	30,500	29,252	100.0	△ 816	△2.7
売上総利益	24,801	82.5	25,500	24,521	83.8	△ 279	△1.1
販売管理費	11,822	39.3	12,800	11,579	39.6	△ 242	△2.1
営業利益	12,979	43.2	12,700	12,942	44.2	△ 36	△0.3
営業外損益	1,050	3.5	800	992	3.4	△ 58	△5.5
経常利益	14,030	46.7	13,500	13,934	47.6	△ 95	△0.7
当期利益	9,957	33.1	9,160	9,670	33.1	△ 287	△2.9

売上・営業利益の推移

売上高 29,252百万円 (前期比: \triangle 2.7%)

営業利益 12,942百万円 (前期比: \triangle 0.3%)



(百万円)	20/3期		21/3期	21/3期		前期比(%)
	構成比(%)		予想	構成比(%)		
ソリューション	8,686	28.9	8,379	7,159	24.5	△17.6
内、クラウド(SaaS,IaaS)	1,119	3.7	—	2,011	6.9	79.7
関連製品	3,677	12.2	3,033	3,019	10.3	△17.9
サービス	17,704	58.9	19,088	19,072	65.2	7.7
内、クラウド(奉行Edge)	2,840	9.4	—	3,574	12.2	25.8
合計	30,068	100.0	30,500	29,252	100.0	△2.7
内、クラウド合計	3,960	13.2	—	5,585	19.1	41.0

ソリューション

- 昨年上期は奉行 i / V ERP(Windows7対応)のサポート終了と2019年10月の消費税改正による特需があり、今期上期は反動減
- 今期上期は新型コロナウイルスの影響により販売パートナーの営業活動が低調だったためバージョンアップの動きが鈍化
- クラウドについて、今期上期は苦戦したものの、下期は急速に回復

関連製品

- 奉行連動ソリューションが193百万円減少

サービス

- 奉行クラウドEdgeが733百万円増加
- OMSS保守契約料等が681百万円増加

ソリューション別出荷数量（本数ベース、バージョンアップ含む）

(単位：本)	20/3期		21/3期		前期比(%)	
	構成比(%)		構成比(%)			
奉行V ERP	2,127	10.3	1,177	8.9	△44.7	
奉行i	NETWORK Edition	5,186	25.0	2,514	19.0	△51.5
	Standalone	11,488	55.4	9,030	68.4	△21.4
Jシステム	1,918	9.3	490	3.7	△74.5	
小計	20,719	100.0	13,211	100.0	△36.2	
クラウド (SaaS,IaaS,Smartプラン)	1,782	—	7,595	—		
合計	22,501		20,806		△7.5	

※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（20/3期 353本、21/3期 144本）

前年との比較

	新規本数	バージョンアップ本数
奉行V ERP	42.8%減少	46.7%減少
奉行i	NETWORK Edition	36.8%減少
	Standalone	16.5%減少
Jシステム	73.0%減少	88.3%減少

※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（新規 86.7%減少、バージョンアップ 55.2%減少）

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	20/3期		21/3期		前期比(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	30,068	100.0	29,252	100.0	△2.7
販売費及び一般管理費	11,822	39.3	11,579	39.6	△2.1
販管人件費	3,871	12.9	3,874	13.2	0.1
研究開発費	2,933	9.8	3,023	10.3	3.1
広告宣伝費	725	2.4	782	2.7	7.9
地代家賃	551	1.8	673	2.3	22.1
減価償却費	222	0.7	179	0.6	△19.3
その他経費	3,517	11.7	3,045	10.4	△13.4

注) 伸率は前年同期比増減率

販管人件費 研究開発費

- 前期末と比較して期末特別決算賞与等の支給額が減少したため微増となった

広告宣伝費

- TVCM放映料の増加

その他の経費

- 新型コロナウイルスによるテレワークやイベントのオンライン開催により旅費交通費、展示会費、販売促進費が減少

貸借対照表－資産の部

(百万円)	20/3		20/9		21/3		20/3比 増減額	20/9比 増減額
		構成比 (%)		構成比 (%)	構成比 (%)			
流動資産	116,152	81.2	116,795	80.2	124,849	78.8	8,696	8,053
現金預金	106,700	74.5	110,051	75.6	114,105	72.1	7,404	4,053
受取手形	1,724	1.2	1,372	0.9	1,911	1.2	187	538
売掛金	7,356	5.1	5,009	3.4	8,444	5.3	1,087	3,434
棚卸資産	208	0.1	214	0.1	189	0.1	△ 18	△ 24
その他	166	0.1	175	0.1	207	0.1	40	31
貸倒引当金	△ 3	0.0	△ 28	0.0	△ 8	0.0	△ 4	19
固定資産	26,976	18.8	28,759	19.8	33,513	21.2	6,536	4,753
有形固定資産	505	0.4	444	0.3	1,097	0.7	591	653
無形固定資産	417	0.3	335	0.2	434	0.3	17	99
投資その他の資産	26,053	18.2	27,979	19.2	31,980	20.2	5,927	4,001
資産合計	143,129	100.0	145,555	100.0	158,362	100.0	15,232	12,807

貸借対照表－負債・資本の部

(百万円)	20/3		20/9		21/3		20/3比 増減額	20/9比 増減額
		構成比 (%)		構成比 (%)	構成比 (%)			
負債	24,603	17.2	23,354	16.0	29,799	18.8	5,195	6,444
買掛金	289	0.2	214	0.1	280	0.2	△ 8	66
未払金	763	0.5	655	0.5	766	0.5	3	111
未払法人税等	2,212	1.5	2,018	1.4	3,004	1.9	791	986
前受収益	14,909	10.4	13,134	9.0	17,444	11.0	2,534	4,309
退職給付引当金	2,493	1.7	2,726	1.9	2,788	1.8	295	62
その他	3,933	2.7	4,604	3.2	5,514	3.5	1,580	909
資本	118,525	82.8	122,200	84.0	128,562	81.2	10,037	6,362
資本金	10,519	7.3	10,519	7.2	10,519	6.6	0	0
資本剰余金	18,957	13.2	18,966	13.0	18,966	12.0	9	0
利益剰余金	84,821	59.3	87,204	59.9	90,733	57.3	5,912	3,528
有価証券評価差額金	9,575	6.7	10,856	7.5	13,690	8.6	4,114	2,833
自己株式	△ 5,347	△3.7	△ 5,346	△3.7	△ 5,346	△ 3.4	1	0
負債・資本	143,129	100.0	145,555	100.0	158,362	100.0	15,232	12,807

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	20/3	21/3	主な増減理由												
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,488	11,918	<table border="1"> <tr> <td>税引前利益</td> <td>13,975</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>売上債権増加額</td> <td>△ 1,274</td> </tr> <tr> <td>前受収益増加額</td> <td>2,534</td> </tr> <tr> <td>法人税等支払額</td> <td>△ 4,007</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>382</td> </tr> </table>	税引前利益	13,975	減価償却費	309	売上債権増加額	△ 1,274	前受収益増加額	2,534	法人税等支払額	△ 4,007	その他	382
税引前利益	13,975														
減価償却費	309														
売上債権増加額	△ 1,274														
前受収益増加額	2,534														
法人税等支払額	△ 4,007														
その他	382														
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	△ 753	<table border="1"> <tr> <td>投資有価証券の売却等</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>有形固定資産の取得</td> <td>△ 589</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産の取得</td> <td>△ 190</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>△ 166</td> </tr> </table>	投資有価証券の売却等	192	有形固定資産の取得	△ 589	無形固定資産の取得	△ 190	その他	△ 166				
投資有価証券の売却等	192														
有形固定資産の取得	△ 589														
無形固定資産の取得	△ 190														
その他	△ 166														
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,756	△ 3,760	<table border="1"> <tr> <td>配当金支払い</td> <td>△ 3,759</td> </tr> </table>	配当金支払い	△ 3,759										
配当金支払い	△ 3,759														
現金及び現金同等物の増加額	8,860	7,404													
現金及び現金同等物期首残高	97,829	106,690													
現金及び現金同等物期末残高	106,690	114,095													

2. 事業戦略

I . マイクロソフトのDX戦略にネイティブに開発

II . OBCのDX・UX戦略

～パートナー戦略とデジタルマーケティング～

III . お客様とパートナーとOBCが繋がる
三位一体によるDX体制

DXを成功に導く

I. マイクロソフトDXテクノロジーにネイティブ開発



1

高い業務レベルに対応

**今まで以上の
高品質**

機能性・スピード・
操作性

2

業務環境の多様性に対応

**いつでも
どこでも**

テレワーク
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を実現

**つながる
ひろがる**

データ連携
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

**職業専門家
ライセンス**

専用ライセンスを
標準提供

マイクロソフトDXテクノロジーネイティブ開発による安心・安全

世界トップレベルのセキュリティ

マイクロソフトの 国内データセンターのみで 災害復旧対策を実現

- ✓日本国法に準拠
- ✓事業継続計画/災害復旧（BCP/DR※）対策に貢献
※ディザスタリーカバリー

東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用

自動的に3重化

月間稼働率99.9%※1を保証

- ✓「Microsoft Azure」のSLA※2にて月間稼働率をコミット

※1 奉行クラウドが採用している「Azure SQL Database」の月間稼働率
※2 サービスレベルアグリーメント

国際認証SOC1,SOC2報告書を取得

「奉行クラウド」は、財務報告に係る内部統制を対象とした「SOC1 Type2」報告書、セキュリティに係る内部統制を対象とした「SOC2 Type2」報告書を取得しています。

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境（PaaS）を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

Microsoftが毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます。

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

暗号化による 強固なデータ保護



- ・すべてのデータを暗号化
- ・あらゆる通信をSSLで保護

OBCiDによる 安心のアクセス



24時間365日運用監視 脅威に対する備えは万全



- ・定期的な脆弱診断の実施
- ・WAF（Web Application Firewall）の設置

- ・パスワードポリシーの設定
- ・複数製品へのシングルサインオン

世界140か国で運用され、国際的なコンプライアンスに準拠

Microsoft Azureは、140か国・2,000万以上の企業に利用されており、ISO 27001、HIPAA、FedRAMP、SOC1、SOC2などの国際的な業界固有のコンプライアンス標準を満たしています。



多様な業務環境を提供し、業務の生産性を向上させる

1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

従来の機能性に自動化機能を加え 精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。

業務のプロも納得のスピード

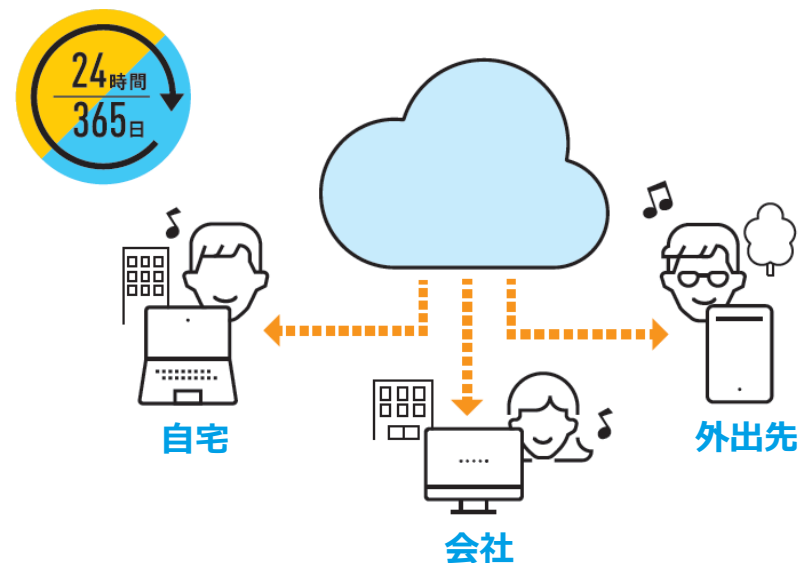


高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。
※Windows Presentation Foundation

2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、時間や場所にとらわれない働き方に対応

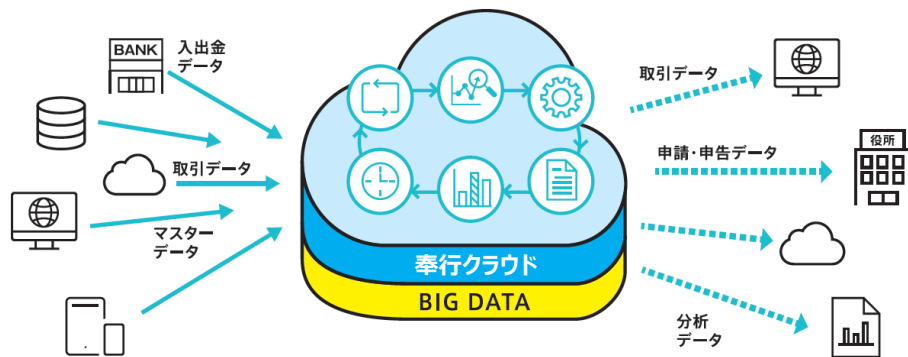


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

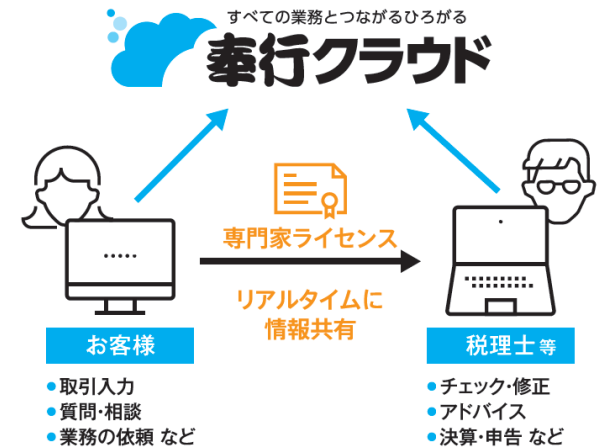
データが自動的につながり、
データ受入や入力作業が不要に



4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を受けながら
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能

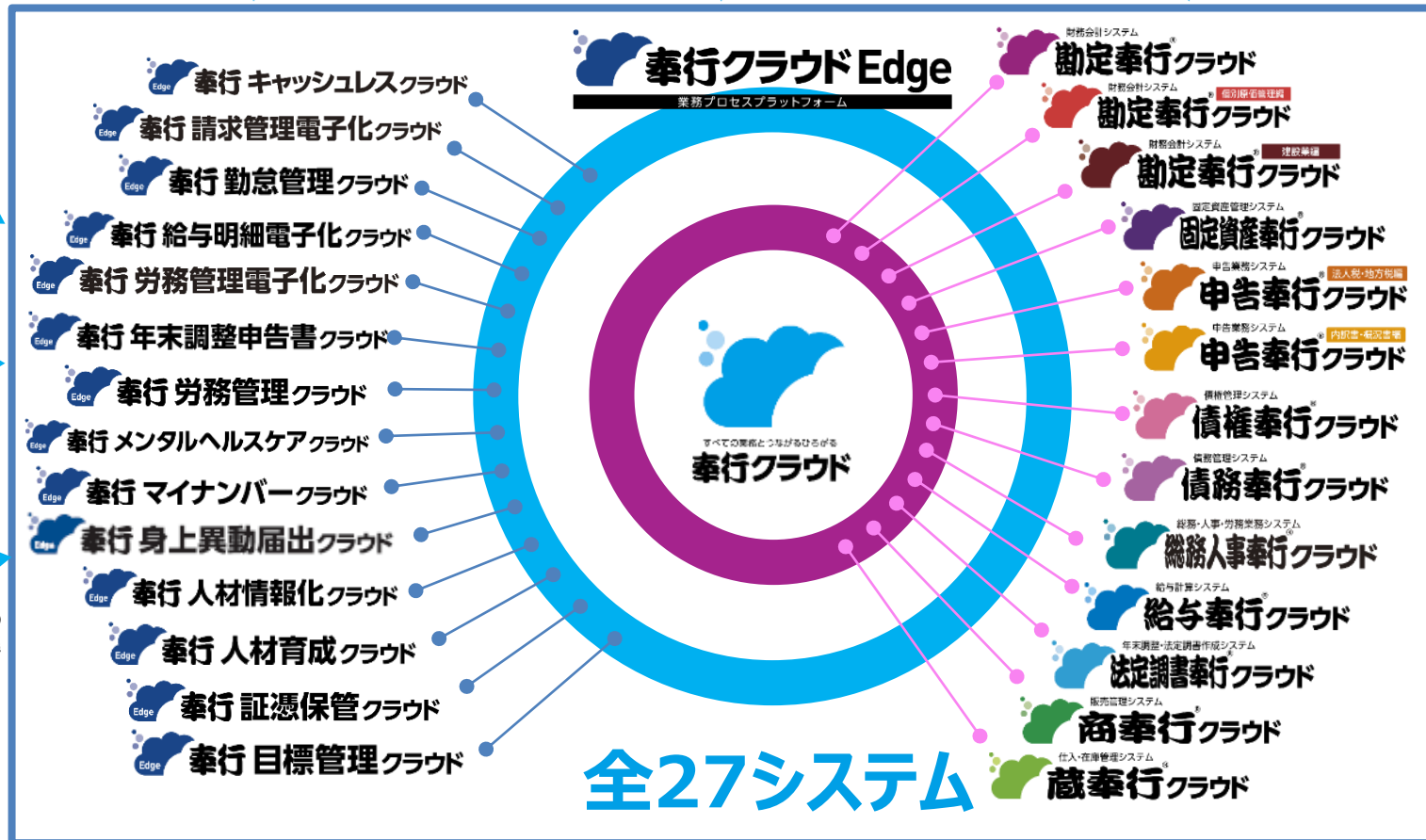


クラウドであらゆる業務やデータがつながり、自動的にプロセスが流れるように変わる

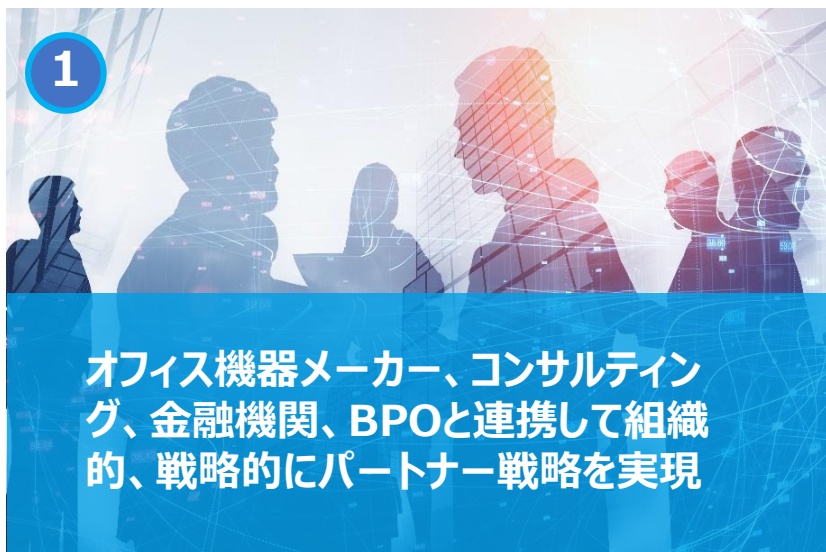
データ自動連携

業務を自動化

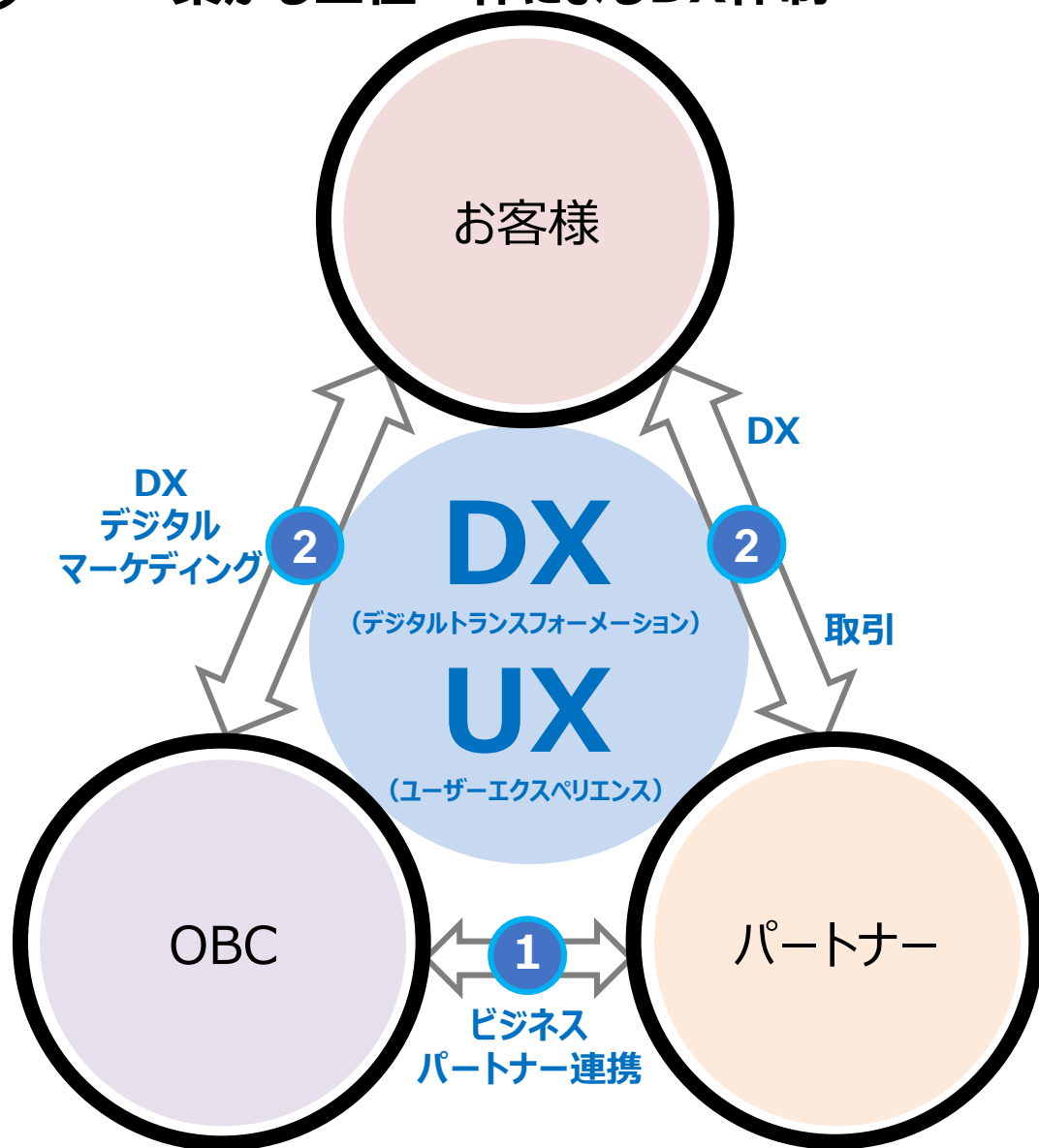
データ活用・連携



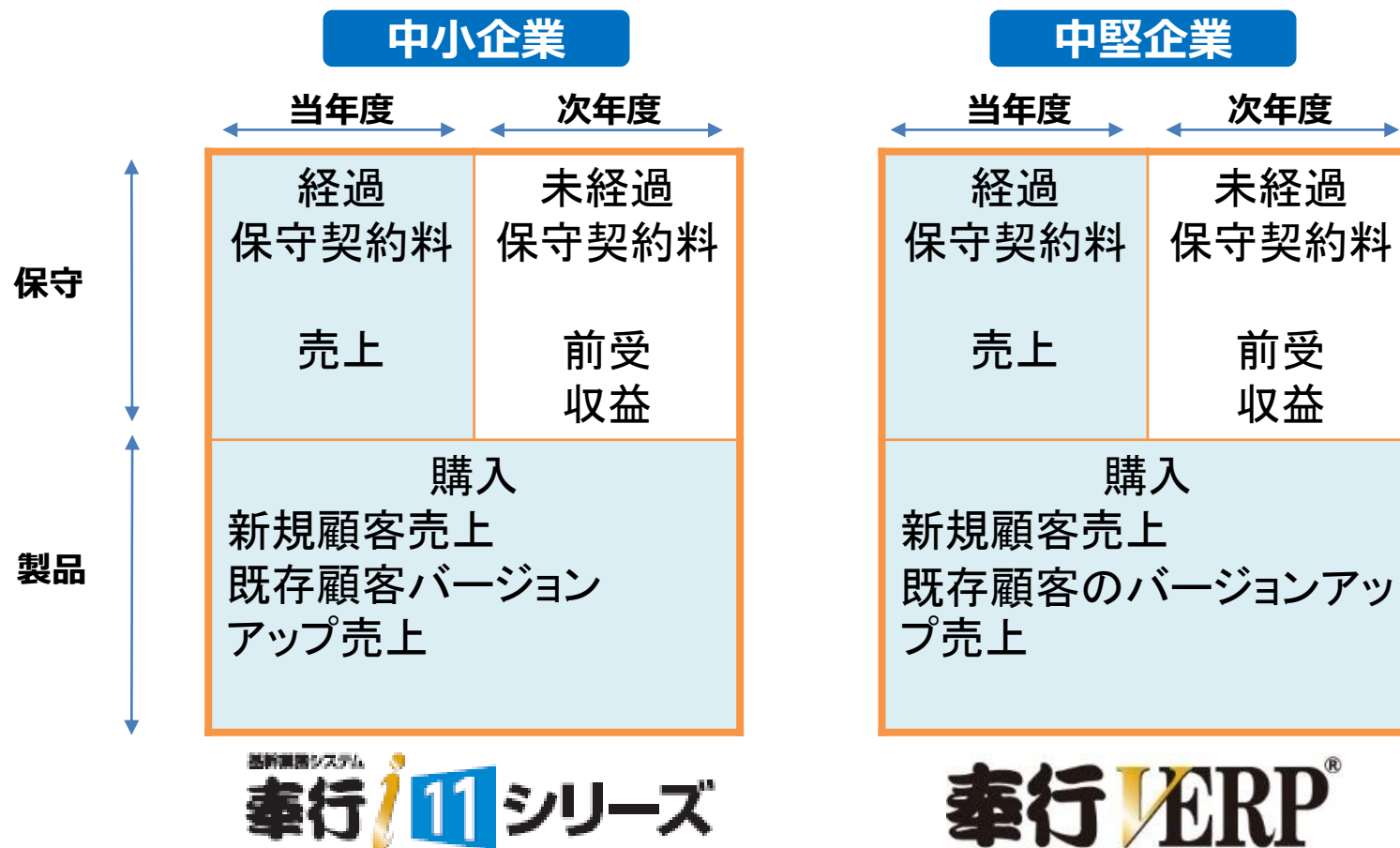
Ⅱ.OBCのUX戦略 ～パートナー戦略とデジタルマーケティング～



Ⅲ.お客様とパートナーとOBCが 繋がる三位一体によるDX体制



【従来】オンプレ型・Windowsプラットフォーム



奉行i + 奉行V ERP = 売上高300億円

(製品 + 保守)

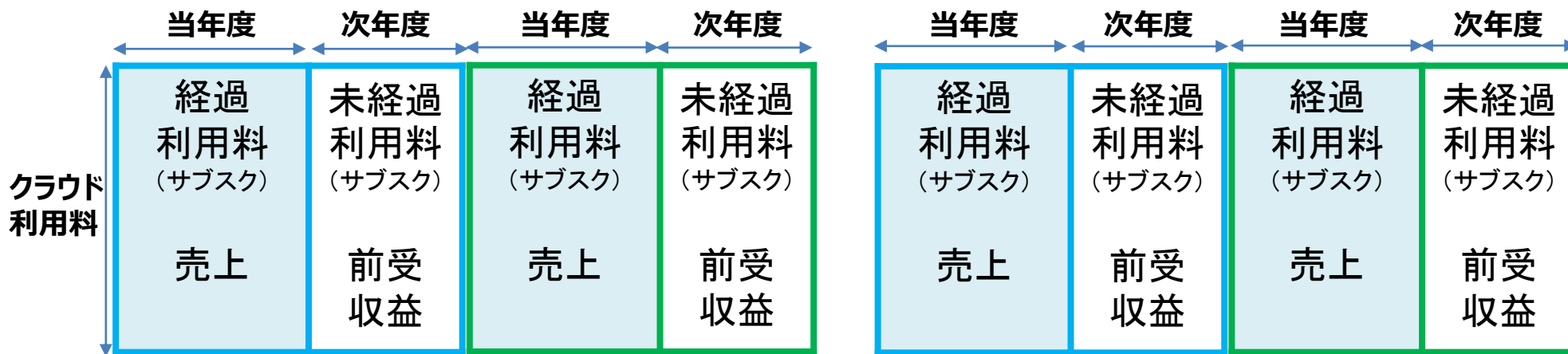
(製品 + 保守)

クラウド転換による収益モデルの変化

【DX世代】クラウド型・Azureプラットフォーム

中小企業

中堅企業



すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

奉行クラウドEdge
業務プロセスプラットフォーム

即戦力型クラウドERP
奉行i-VERP
Smart Plan

奉行クラウドEdge
業務プロセスプラットフォーム

- 勘定奉行クラウド
- 固定資産奉行クラウド
- 申告奉行クラウド【法人税・地方税編】
- 申告奉行クラウド【内訳書・概況書編】
- 勘定奉行クラウド【個別原価管理編】
- 総務人事奉行クラウド
- 給与奉行クラウド
- 法定調書奉行クラウド
- 商奉行クラウド
- 蔵奉行クラウド
- 債権奉行クラウド
- 債務奉行クラウド

デジタルデータの
計算・管理・集計

- 奉行Edge 勤怠管理クラウド
- 奉行Edge 給与明細電子化クラウド
- 奉行Edge 労務管理電子化クラウド
- 奉行Edge 年末調整申告書クラウド
- 奉行Edge 労務管理クラウド
- 奉行Edge メンタルヘルスケアクラウド
- 奉行Edge マイナンバークラウド
- 奉行Edge 身上異動届出クラウド
- 奉行Edge 証憑保管クラウド
- 奉行Edge 請求書電子化クラウド (NEW)
- 奉行Edge キャッシュレスクラウド (NEW)

デジタルデータの
収集・配信・送信

クラウドによる新分野の製品群

奉行クラウド (i-VERP相当)
350億円



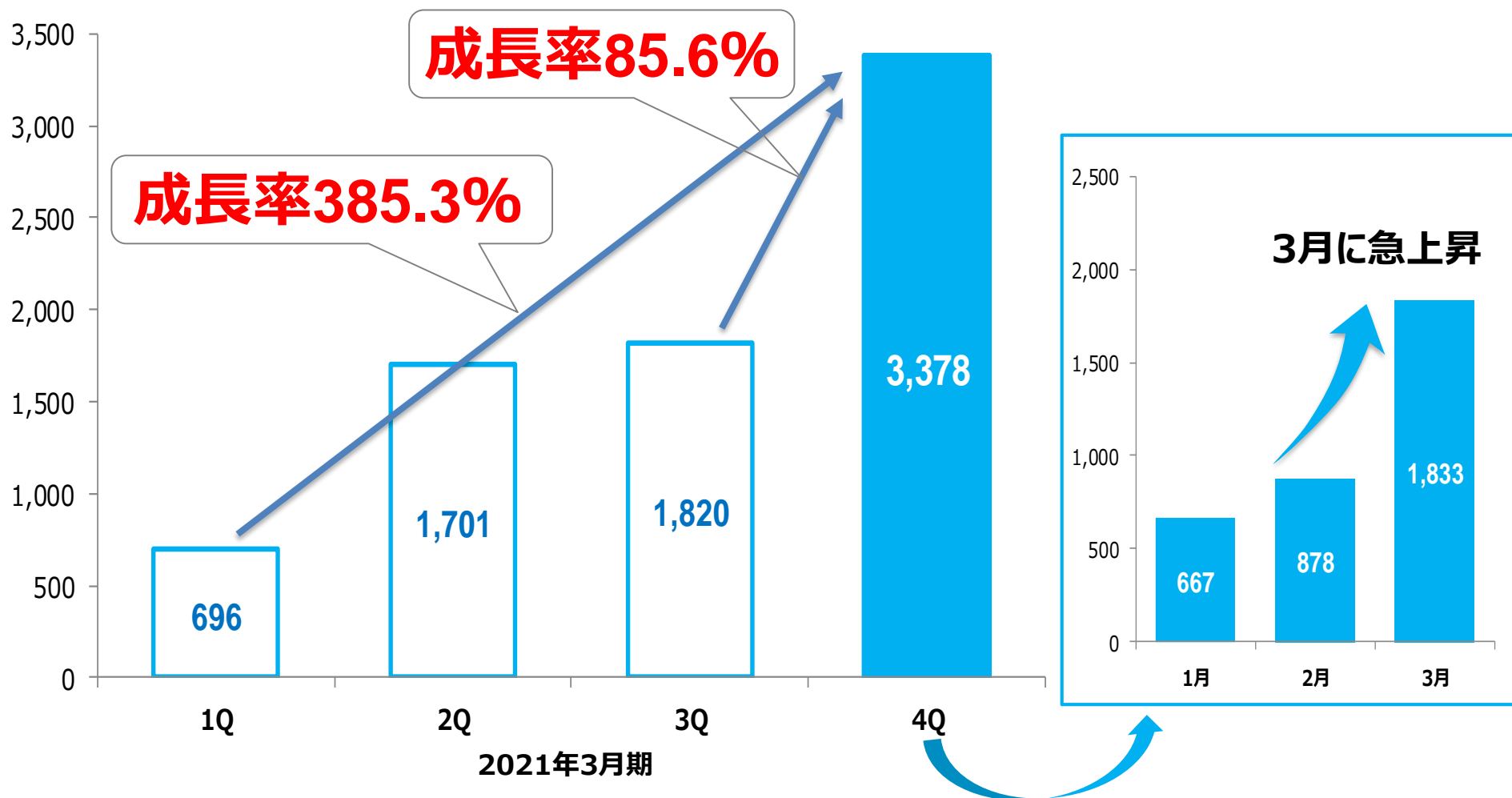
奉行クラウドEdge
150億円



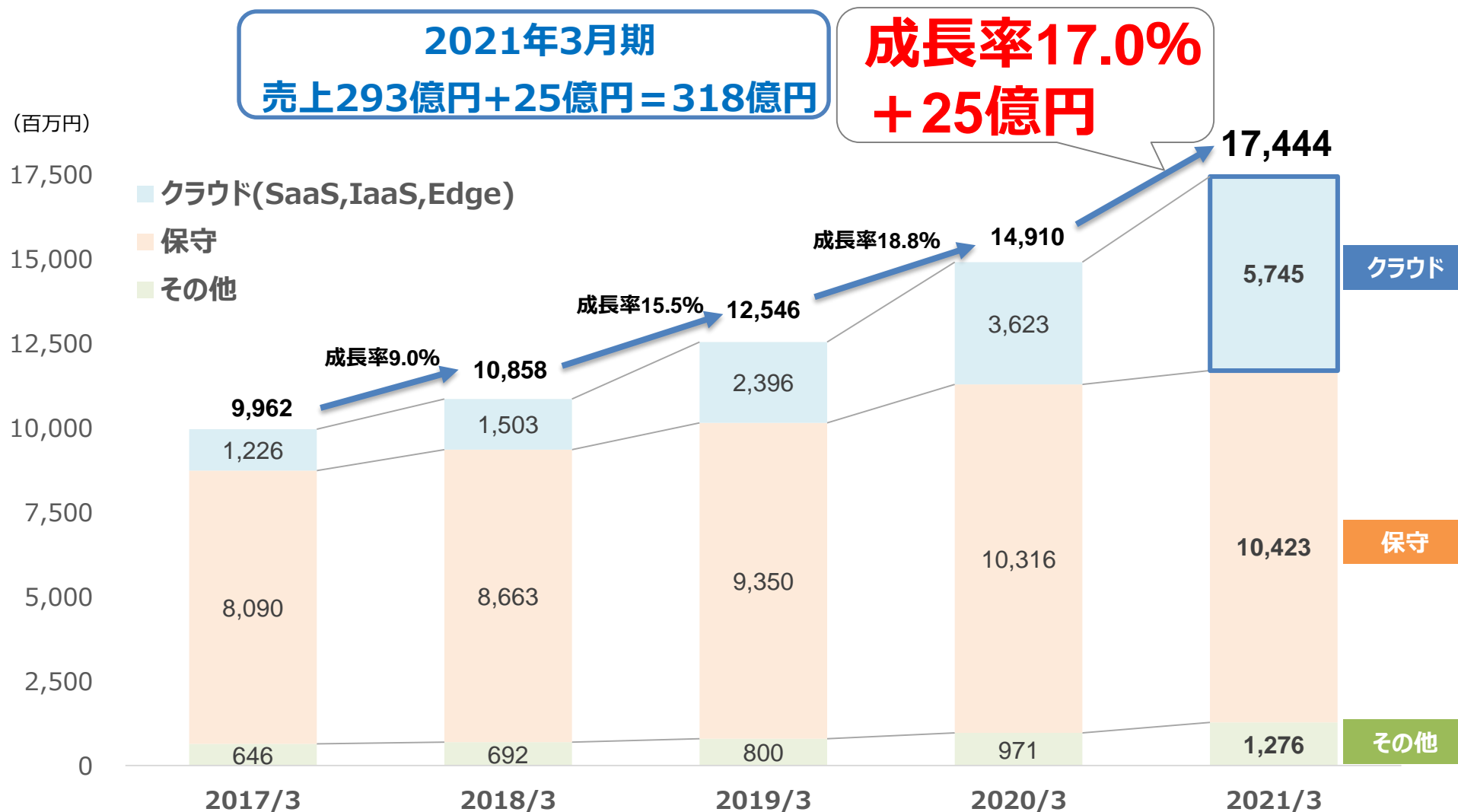
売上高
500億円

4Qでクラウド（基幹システム）転換が一気に加速

奉行クラウド（基幹システム）受注システム数

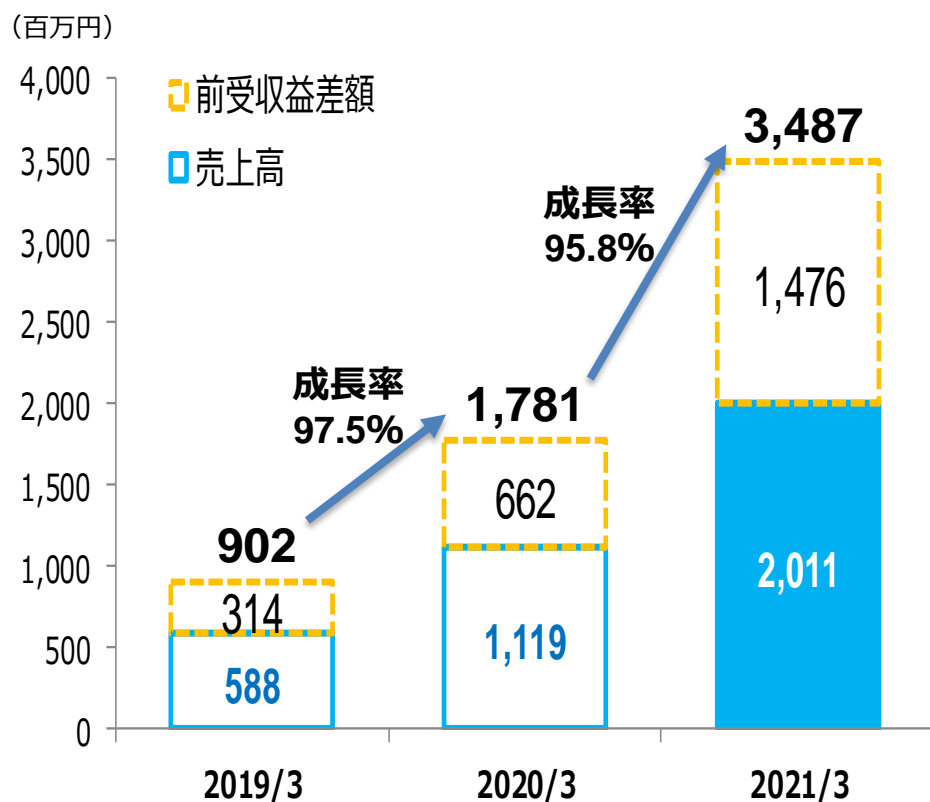


次年度以降の売上に振り替わる前受収益残高 (未経過残高) が前年同月比で25億円増加

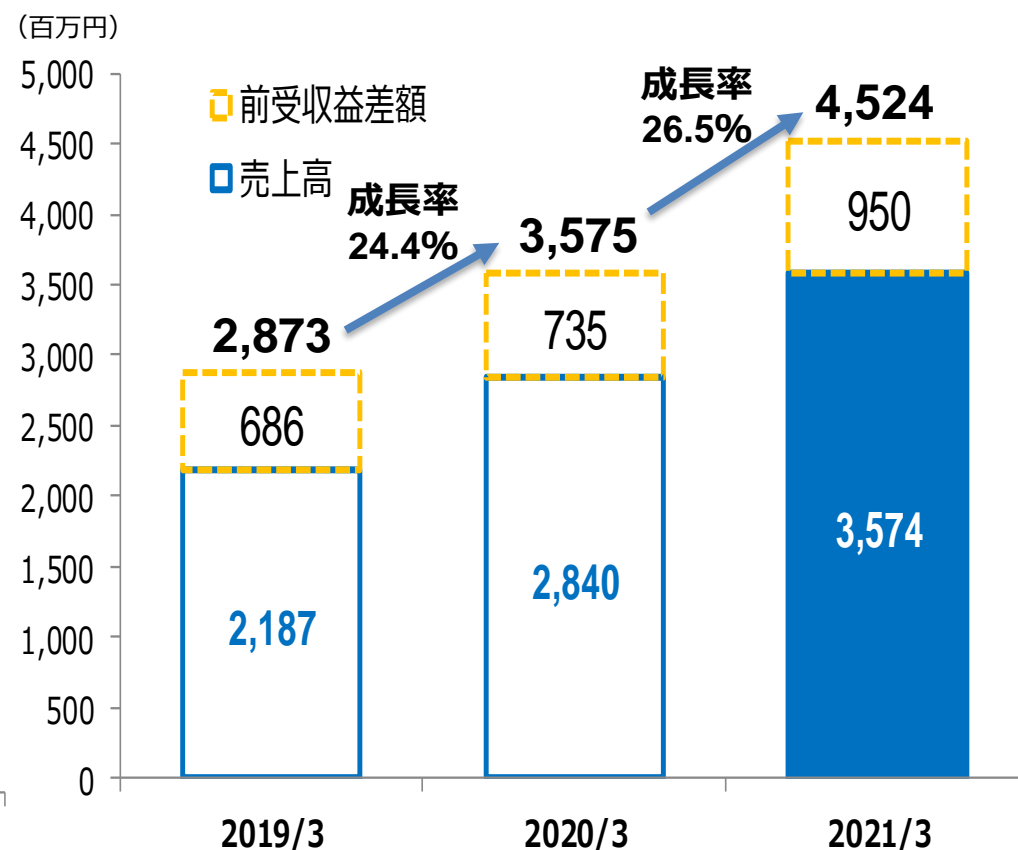


クラウドによる売上高は順調に増加

① クラウド（基幹システム）
売上高・前受収益差額

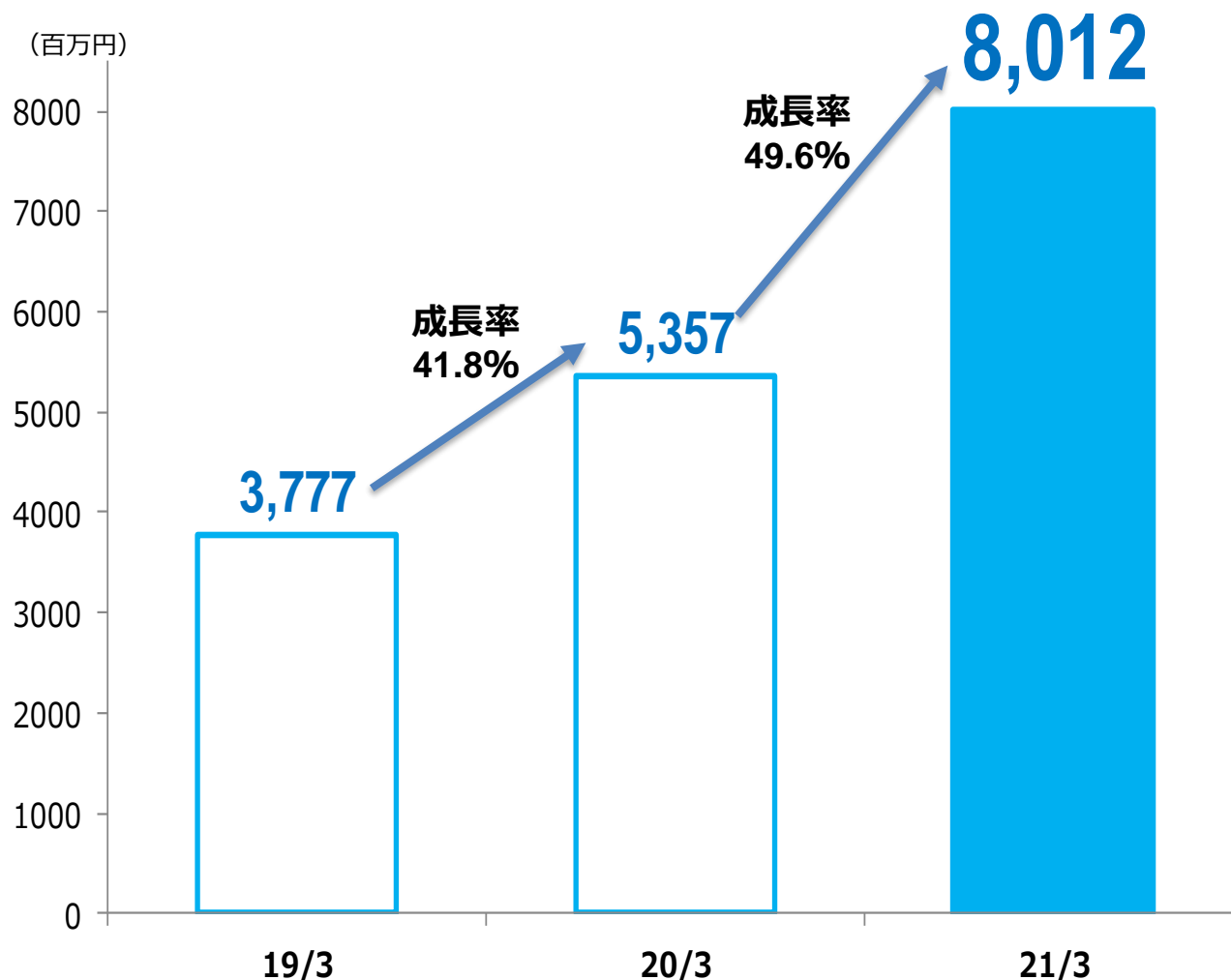


② 奉行クラウドEdge
売上高・前受収益差額



※前受収益差額は、各年度末残高-前年度末残高で算出

クラウド（基幹システム）+ 奉行クラウドEdgeの売上高+前受収益差額
（前ページの①+②の金額）



クラウド合計の
受注ベース金額
(DXクラウドARR)
約80億円

クラウド成長率
20/3期41.8%
21/3期49.6%
**DXクラウドの成長率
がさらに加速**

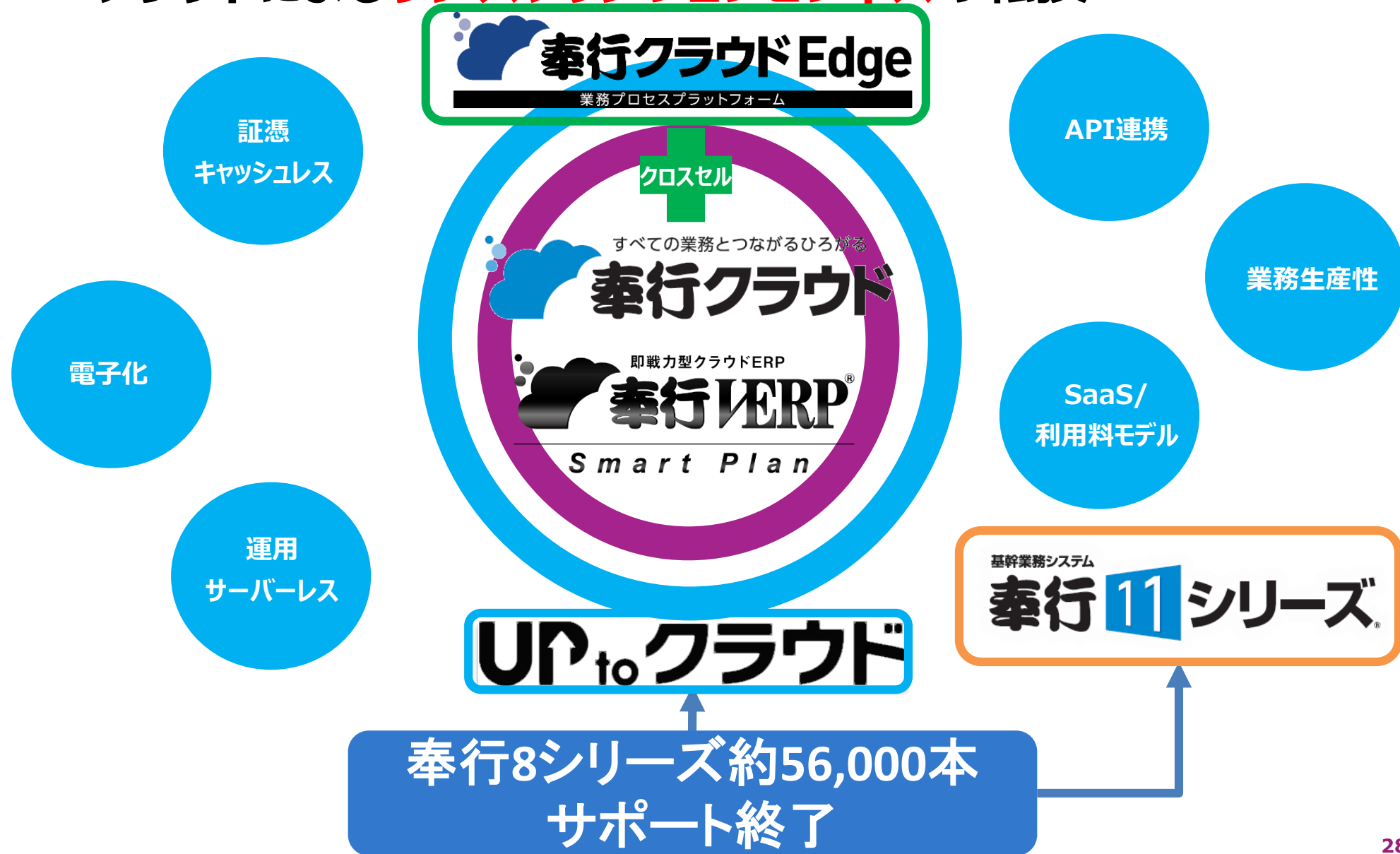
2022年3月期の重要なイベント

奉行8シリーズ約56,000本のサポート終了をバネにする

Transformation Cloud Business

UP↑ to クラウド

クラウドによるサブスクリプションビジネスの転換



2021年
4月

10月

2022年
3月

販売戦略

サブスクリプション転換（奉行クラウド・奉行VERPSmartプラン・奉行クラウドEdge）

奉行8シリーズサポート終了最終年による対象製品のバージョンアップ推進活動

- 対象件数 56,000システム

DX・ペーパーレス業務推進「業務のデジタル化」

- 労務管理電子化クラウドEdge（ペーパーレス対応）
- 勤怠管理クラウドEdge
- キャッシュレスクラウドEdge
- 請求書電子化クラウドEdge

★奉行クラウドフォーラム
（オンライン開催予定）

★奉行クラウドフォーラム
（オンライン開催予定）

★PartnerConference
（予定）

システム環境

- V ERPSmartプラン（※30ページ）
- 奉行Edge請求書電子化クラウド

クラウド製品機能拡張

奉行クラウド VERP開発

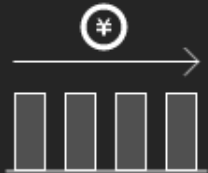
ERPも所有から利用へ（サブスクリプション化）



奉行V ERP 新サービス 登場
変化の激しい時代に対応するため
奉行V ERPがさらに進化

特徴

メリット



買取から
サブスクリプションへ

導入の負担を抑え、短期間でスマートに利用を始められます。常にサービスは進化し続けるため、将来にわたって変化に対応することができます。



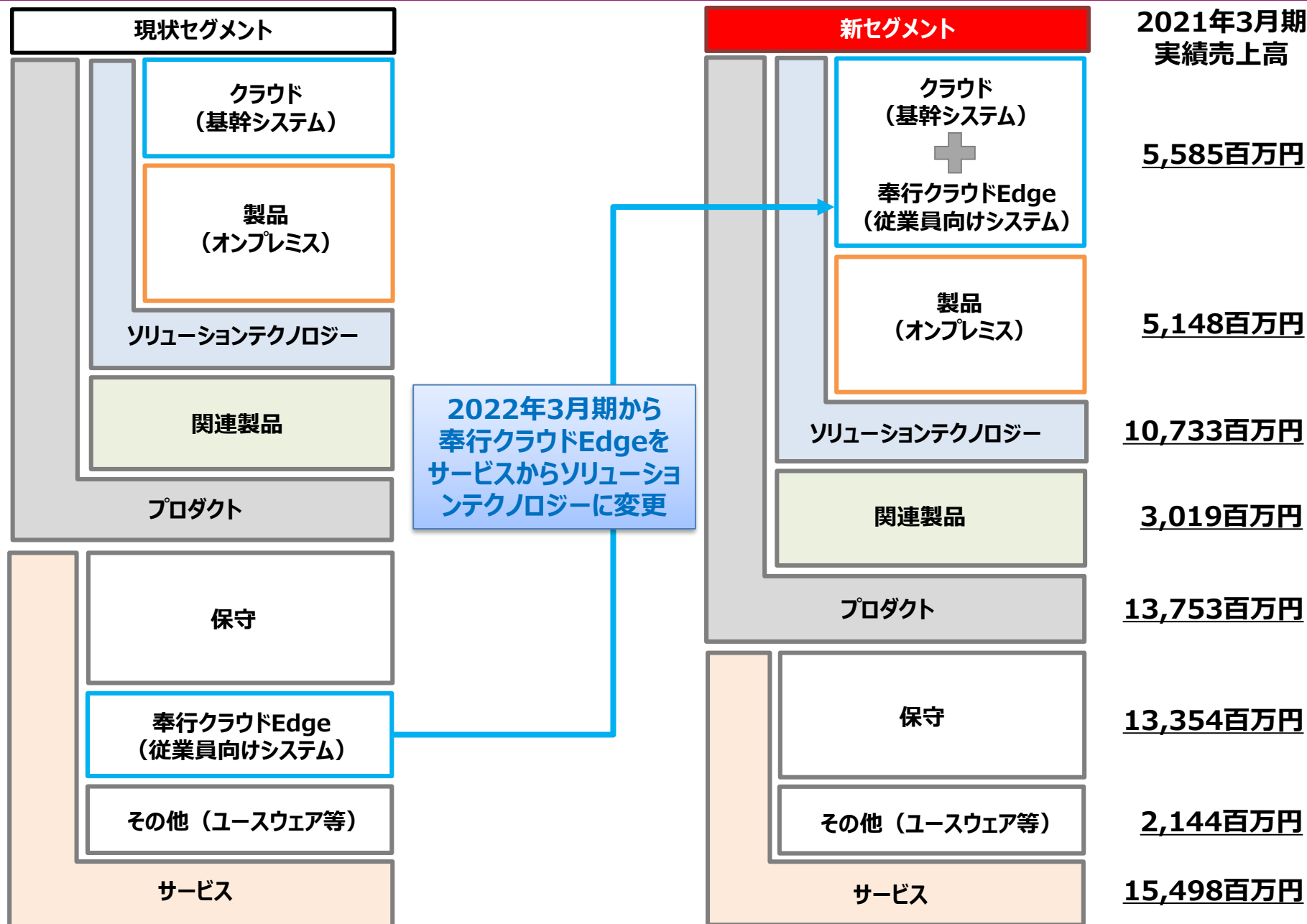
サービス連携の自動化など
機能性を強化

従来お客様の必要に応じて提供していた自動実行管理オプション、他システム連携オプションなどを標準搭載で、様々なサービスとの連携を自動化します。

- サブスクだからコストを抑えてスマートに利用できる
- 幅広い業務対応力と柔軟な連携で業務をずっと快適に
- 中堅・上場企業の業務要件を満たす高い性能により経営課題をスマートに解決

3. 2022年3月期 事業計画

品目別セグメント区分の変更



売上高	前年同期比16.2%増 340億円		
(百万円)	上期計画	下期計画	通期計画
ソリューション	6,852	9,143	15,995
関連製品	1,437	1,715	3,152
サービス	7,481	7,372	14,853
合計	15,770	18,230	34,000

(参考：前期実績)
奉行クラウドEdgeソリューションに組換

上期	下期	通期
4,876	5,857	10,733
1,303	1,716	3,019
7,600	7,898	15,498
13,780	15,471	29,252

営業利益	前年同期比 18.9%増 153億円	
------	--------------------	--

- ◆販売費及び一般管理費は、新入社員が63名入社したことに伴う人件費の増加、及び広告宣伝費、販売促進費の増加を見込む

経常利益	前年同期比 16.2%増 161億円	
------	--------------------	--

- ◆上場リートからの配当金収入を8億円見込む

当期利益	前年同期比 15.8%増 112億円	
------	--------------------	--

2022年3月期 通期事業計画

(百万円)	21/3期		22/3期 計画			
	構成比(%)		構成比(%)	増減額	前期比(%)	
売上高	29,252	100.0	34,000	100.0	4,748	16.2
売上総利益	24,521	83.8	28,470	83.7	3,948	16.1
販売管理費	11,579	39.6	13,080	38.5	1,500	13.0
営業利益	12,942	44.2	15,390	45.3	2,447	18.9
営業外損益	992	3.4	800	2.4	△ 192	△ 19.4
経常利益	13,934	47.6	16,190	47.6	2,255	16.2
当期利益	9,670	33.1	11,200	32.9	1,529	15.8

22/3期の法人税等実効税率：30.6%

(百万円)	21/3期		22/3期 計画		
		構成比(%)		増減額	前期比(%)
ソリューション	10,733	36.7	15,995	5,261	49.0
関連製品	3,019	10.3	3,152	132	4.4
サービス	15,498	53.0	14,853	△ 645	△ 4.2
合計	29,252	100.0	34,000	4,747	16.2

ソリューション

- 奉行8シリーズサポート終了によるバージョンアップ需要を取り込む(2022年4月サポート終了)
- テレワーク等によるDX需要を取り込む
- 奉行クラウドEdge新サービスによる新規売上増加

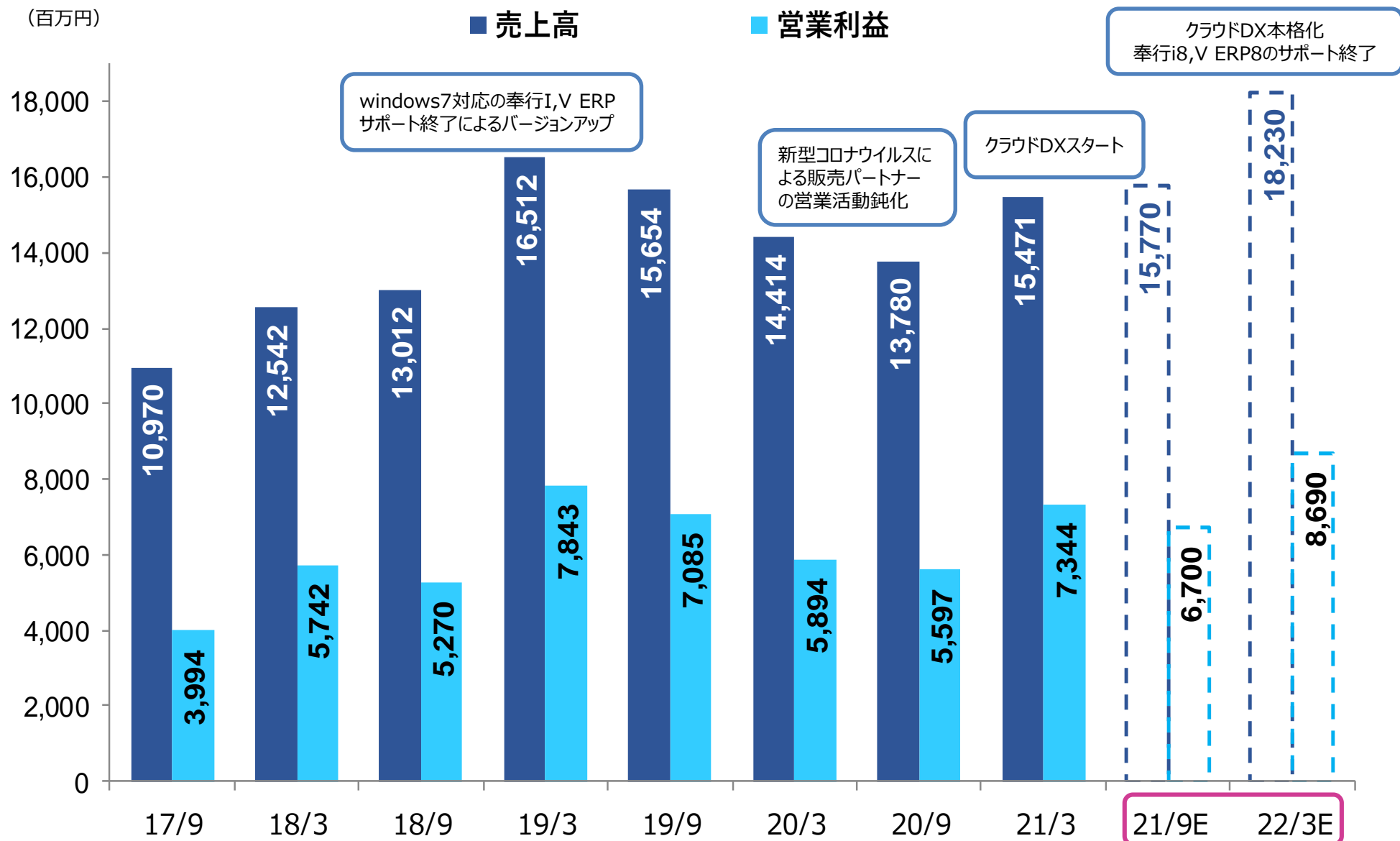
関連製品

- 奉行連動ソリューション、サプライ製品共に2021年3月期と同水準を見込む

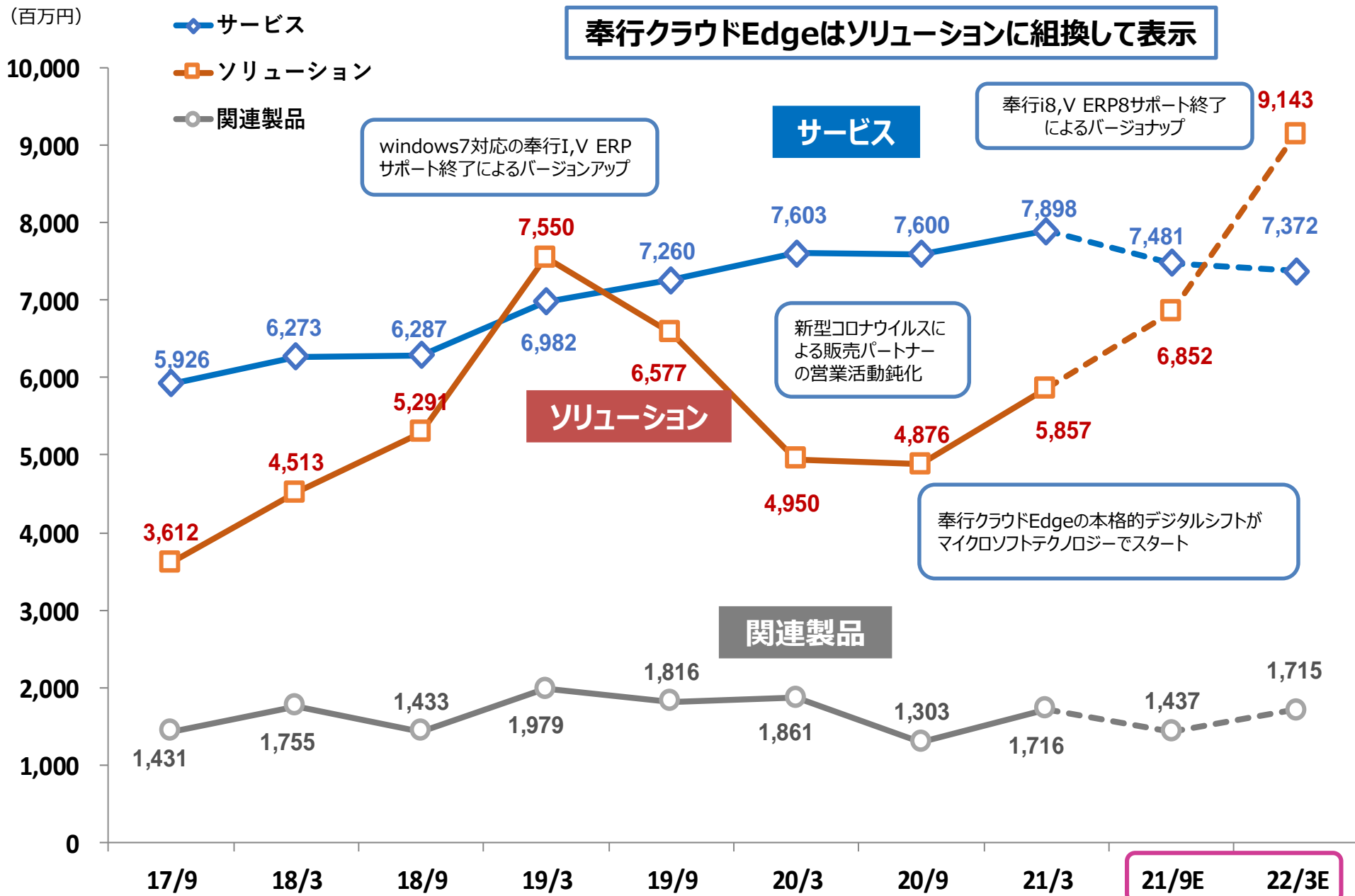
サービス

- クラウド転換により保守加入数の減少

業績の推移（半期ベース）



品目別売上高（半期ベース）



本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

www.obc.co.jp